

公の施設目標管理シート（直営）

センターの運営業務を受託している「新潟市市民活動支援センター運営協議会」の事務局スタッフ4名がローテーション勤務。常時2名のスタッフを配置。

問合せ先 025-226-1102

年度	令和2年度	
施設名	新潟市市民活動支援センター	所管部・課 市民生活部市民協働課
施設の設置目的	市民が、営利を目的とせず、不特定多数のものの利益の増進に寄与するために行う活動（市民公益活動）を支援するため、市民活動支援センターを設置する。	

当初予算(千円)	当初人員(人)	作成日	R2.6.30
歳入 342	正職員	修正日	
歳出 28,739	会計年度任用職員	評価日	R3.7.7

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H29実績	H30実績	R1実績	R2目標					R2結果
1	市民	活動に関する相談や活動の場の提供を行う市民活動支援センターを通じてNPO活動を支援し、市民との協働によるまちづくりを進めます。	センター利用登録団体数(団体)	280	303	261	268	247	前年度比3%増を目標とする。(R1年度末より登録団体の更新作業を毎年実施) R2目標:年間21,000人/359日(にいがた未来ビジョン実施計画目標) 前年度比3%増を目標とする。 前年度比3%増を目標とする。(R1年度末より登録団体の更新作業を毎年実施) R1実績より、コロナ対策により中止になった(想定される)大型イベント(古町どんどん)等の参加者数を除いた数 キッズ・フェスタ、(仮称)市民団体と地域をつなぐ交流会の参加団体数(R2年度より評価指標変更) (利用実績)/ (利用可能コマ数) (総事業費)/ (利用者数) 会員交流・研修会 スタッフ勉強会12回、スタッフ会議24回	コロナ禍で活動が停滞したことが影響していると思われる。	C:未達成	
2	市民		センター利用者数(人/日)	58.1	53.3	59.4	58.4	31.1		コロナ禍で、利用人数を通常の半分程度に制限するとともに、イベントを中止したことによるもの。	C:未達成	
3	市民		センターホームページアクセス数(件/年)	65,608	69,750	64,075	65,997	55,881		コロナ禍で団体活動が停滞したことが影響していると思われる。	C:未達成	
4	市民		センターホームページユーザー登録数(ID,パスワード発行団体)	97	122	71	73	70		コロナ禍で活動が停滞したことが影響していると思われる。	C:未達成	
5	市民		主催事業等参加者数(人)	3,592	2,714	6,096	539	126		市民活動団体の活動毎の支援 市民活動団体立ち上げに関する支援 志縁団体と地縁団体の協働支援	コロナにより、中規模のイベントであるキッズフェスタも中止したため。	C:未達成
6	市民		他団体協働事業コーディネート件数(件)					16		0	コロナにより事業を中止したため。	C:未達成
7	財務		施設稼働率(%)	49.5	50.3	48.3	50.0	56.6				B:達成
8	財務		利用者一人当たりコスト(千円)	1.31	1.45	1.28	1.36	2.89			利用者減にともない増加したものの。	C:未達成
9	業務		利用者懇談会開催数(回)	2	3	2	3	1			コロナにより会員交流の1回のみにとどまった。	C:未達成
10	人材		スタッフ能力向上のための研修会参加数・勉強会開催数(回)	43	41	35	36	34			スタッフ入れ替えにより、勉強会開催を見送った回があったため。	C:未達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
豊かな地域社会を実現するには、市民の創意と工夫を活かす必要があります。市民活動支援センターを通じて市民団体が行う様々な公益活動の支援を行ないます。	<p>コロナ禍の影響もあるが、年々利用者数が減っている感がある。当センターの利用者層が高齢化していることにともない、削除団体も増加していると思われることから、以下の具体的な取組みをもとに、引き続き、利用者の拡充に取り組んでいきたい。</p> <p>【具体的な取組み】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>①web会議機能のサポート 新しい生活様式によりweb会議の需要が高まったため、昨年度よりセンターでweb会議ができるよう整備するとともに、サポート事業を実施。今年度も引き続き実施する。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>②サポートパートナーとの連携 昨年度で、旧新潟市以外の全ての区にサポートパートナーが登録された。サポートパートナーとの連携を強化することで、遠方の方でも、サポートパートナーを通じて、活動相談等のセンター機能の恩恵を受けられるよう、引き続き取り組む。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>③中間支援機能の強化 これまで様々な協働事業を実施し、中間支援を行ってきたが、今年度は、「つなぐ交流会」「マッチング事業」と新たな協働事業を実施することで、中間支援に取り組む。</p> </div> </div>